

○委員長（菊川敬人）

議案第23号 平成28年度開成町下水道事業特別会計予算を議題とします。

下水道事業特別会計の歳入歳出予算について、詳細質疑を行います。質疑のある方、どうぞ。

星野委員。

○10番（星野洋一）

星野洋一でございます。

説明書56、57ページの一番上、下水道事業受益者負担金のことについてお伺いしたいと思います。予算額294万4,000円、これについて、これは前年度よりも195万1,000円分ぐらい大分増えていると思いますが、これは、やはりみなみ地区のほうが増えたということに関して増えているのでしょうか。また、もしそうならば、何件ぐらい増えているのかということをお教えいただければと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課副主幹（川口浩一）

上下水道課、川口でございます。

ただいまいただいた質問にお答えさせていただきます。

こちらにつきましては、みなみ地区、こちらの受益者負担に関しては、平成26年度に組合のほうから一括で納付していただいておりますので、みなみ地区の分につきましては含まれてございません。今回、平成28年度、こちらの予算に関しては、主に合同庁舎、こちらが流入区域として入りますので、そちらの受益者負担金が主な収入となっております。

以上です。

○委員長（菊川敬人）

星野委員。

○10番（星野洋一）

星野洋一です。

そうですか。合同庁舎のほうということで理解いたしました。

あと、それから、私、その辺がうまくわからなかったのですが、平成27年度賦課分と平成28年の賦課分が一緒になって予算額に入っているということなのですが、これは単年度ではなくて次年度のほうに入れるという何か理由があるのでしょうか。前年、27年のほうもまとめて一緒に入れているということが、ちょっと、その辺を説明していただければ。よろしくお願いします。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課副主幹（川口浩一）

上下水道課、川口でございます。

ただいま質問いただいた内容について、お答えさせていただきます。

こちらの平成27年度賦課分につきましては、分割納付をされている方がおられますので、そちらのほうの受益者負担金となってございます。

以上です。

○委員長（菊川敬人）

佐々木委員。

○1番（佐々木昇）

1番、佐々木昇です。

予算書248、249、説明書58、59ページの施設管理費のところでお伺いしたいと思います。施設管理費の中で公共柵設置工事費と施設維持管理工事費というのが示されておりますけれども、説明書の中でもいまいち細かいことが理解できないので、もうちょっと詳細の説明をお願いしたいと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

工事の関係ですので、私のほうからお答えいたします。

公共柵設置工事費、こちらにつきましては、平成28年度につきましては下水道から住宅地に入れる公共柵の設置という部分を2件、予定として計上させていただいております。

施設維持管理工事費につきましては、道路の維持補修工事、こちらのほうと、あと舗装工事、その他に伴います人孔の柵の調整と、あと工事を予定しております。道路維持補修につきましては、前年度からの見込みの中で、マンホール周りの舗装が悪くなったりとか、そういう関係の維持補修を行う予定でございます。また、人孔の調整につきましては、まちづくり推進課の舗装工事等にあわせて新しく舗装を打ちかえるときに、人孔柵のふたの高さの調整が必要な場所等を勘案して予算のほうを計上しております。

以上です。

○委員長（菊川敬人）

佐々木委員。

○1番（佐々木昇）

わかりました。

私、町内を回ってしまして、マンホールの周りの舗装されていないところ、そこでちょっとマンホールが浮き上がっているようなところが非常に危険かなというふうに思っているのですけれども、その辺の補修というか・・・というのが今回、この予算に組み込まれているのか、お伺いします。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

こちらにつきましては、先ほど言いました道路維持補修工事等の中で、逐次、そう

いう箇所を指摘がありましたら対応していくということです。

○委員長（菊川敬人）

佐々木委員。

○1番（佐々木昇）

これは、そういう場所で、指摘があった場所をやるということで理解してよろしいのでしょうか。3回目なので。私が確認している中で5カ所ぐらい見ているのですけれども、かなりあるのかなと。これは、一回、全町、全部調べていただいて計画的にやっていただいたほうがいいのかなと思うのですけれども、その辺について考えをお伺いします。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

道路補修工事、施設管理につきましては、職員のパトロール等もした中で、今、言いましたマンホールと舗装の段差が大きいようなところ等の補修等は私たちのほうも逐次、パトロールの中で点検した中でやっていますけれども、やはり私たちも目が届かないところ等がありますので、その辺は、住民の方、自治会のほうからの指摘等がありましたら、その辺を確認して随時やっていきたいというふうに思っております。

また、一遍に全部、佐々木委員の言うとおりに全部できませんので、その辺は毎年、数を確認した中で計画的にやっていきたいというふうに思っております。

○委員長（菊川敬人）

石田委員。

○5番（石田史行）

5番議員の石田史行でございます。

予算書は251ページ、説明資料58、59ページの公共下水道事業費のことについて伺いたいと思います。今回、中之名地区、牛島地区、そして下延沢地区と吉田島地区の箇所の管渠布設工事を行うということで、整備面積1.4ヘクタールを実施するというところでございますけれども、主な事業概要でも述べられておりますように、下水道整備は不可欠の社会資本であり云々ということでございます。町として計画的にこれを進められていると思いますけれども、今回の工事によって、整備率という言葉が正しいのかわかりませんが、これによって町の下水道の整備率、それがどうなのか、何%になるのか、伺いたいと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

平成28年度、こちらの予定の箇所の工事をやった場合の整備率につきましては、面積ベースでは64.5%の整備率です。

○委員長（菊川敬人）

石田委員。

○5番（石田史行）

64.5%ということで、まだまだかなというところがございます。もちろん予算の制約もございますので、あると思うのですけれども、今回、この地区を選ばれたということは、当然、特に地域の要望が強かったところなのかなというふうに私は思うのですけれども、こういった整備の優先順位、これはどういう判断基準で整備を進められているのか、その基準を伺いたいと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

下水道整備につきましては、基本的には市街化区域を優先的に工事をやっていきたいというふうに考えております。ただ、市街化区域の中でも他の事業と絡む場所、特に土地区画整理事業、都市計画道路に絡む事業につきましては、そちらの事業をあわせた中で整備を行っていききたいというふうに思っています。また、調整区域につきましては、やはり人口が密集した地区というものがDIDという形の中でありまして、こちらのほう、下水道利用者が多い地区を優先して調整区域のほうは整備をしていきたいというふうに考えております。

○委員長（菊川敬人）

石田委員。

○5番（石田史行）

ご答弁ありがとうございます。しっかりと一定の基準を持ってやっていらっしゃるということを確認いたしましたので、了解しました。

最後に細かいことというか確認ですけれども、牛島地区1カ所という、今回、整備を予定されているわけですが、いわゆる白鷗医院の近くのあたりかなというふうに思うのですけれども、これを整備することによって何世帯の方々が下水道に。今まで下水道が整備されていなかったと思うのですけれども、何世帯の方々。ここは牛島と宮台の住所がちょっと入り組んでいるところだと思うのですけれども、牛島、それから宮台の何世帯の方々に下水道が引かれることになるのか、それを確認させていただきたいと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

こちらの牛島地区の整備につきましては、こちらは開成幼稚園のほうに向かって下水道を整備という部分での1期目の工事ということで、今年度、行うところでは、すみません、具体的な細かな数字というものは今データがないのですけれども、アパートが1軒、戸建ての住宅が3軒、道路沿いに設置しているということで、それ以外に接続しているかどうかというのはデータがないものですから、今、把握しているのは、その数でございます。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

井上です。

私、去年、ある機会がありまして、町内の水路を全部点検する作業に加わりました。そのときにいろいろ見えてきたことがあるのですが、土曜干しとか工事とか河川掃除等で水路に水が通らないときに、非常に下水道につながっていないところで、においが出るというような苦情を言われる方が結構あるということが見えてきました。例えば、開発に入ったようなところで下水道へつなげるというのは、本体の下水道につなげるのは個人の支払いということなのですが、そのときに行政サイドから下水道につなげるという指導もされていると思うのですが、その辺の実態を伺うことができると思うのですが、よろしくをお願いします。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

今の議員のご質問にお答えします。

開発等で下水道のほうの接続という部分がまず1点あると思いますけれども、今現在、開発の中で下水道の整備につきましては、開発業者、開発者のほうで下水道を整備していただくということで。ただ、認定する道路、接道する道路に下水道がない場合には、そちらのほうは下水道に接続できないため浄化槽対応でお願いしたいというふうに、そういうふうをお願いしております。近隣の隣接する道路に下水道がある場合は、100%、下水道に接続する施設の整備を開発のほうで行っていただいているというのが現状でございます。

あと、既存の住宅につきましては、まだ未接続者、町内には約200件ほどあります。そちらにつきましては、接続の依頼の文書等を発送した中で接続をお願いすることで、既存の住宅につきましては年間約5件から20件の新規の接続という形の中で今現在います。平成28年度現在では約18件の既存の住宅の接続がありまして、そちらにつきましては、逐次、相談等があれば、下水道の接続について融資あっせん等の紹介等をした中で接続を促すようなことをしております。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

すみません。今、お話の中で28年度現在と言いましたけれども、27年度現在です。今年度、既存の住宅の中で下水道に接続をした件数が18件あるということです。申しわけありませんでした。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

農業地域から急激に開発が進んでくる開成町は、どうしても宿命的に農業用水路と、

それから生活用水路と、それらが混在しているというのが開成町のある意味での宿命ではないかなと思います。そこで、それを、できる限り快適な町民の生活を確保したり、それからきれいな開成町をつくり上げるには、下水道整備というのは、どうしても計画的に考えていかなければいけないのではないかなと、そのように感じております。

特に、いくら催促しても下水管につなげない家とか、それから新しく開発されたところでも、家を建てた、その本人が下水管につなげない限り、この64.5%というのは上がっていかないわけなのですけれども、何らかの行政の手腕として、その辺、今後検討していただいて、どうすれば可能な限り整備が進んでいくのかということ、ぜひ目指していただけたらと思うのですけれども。その辺の計画的なことについて、今後の見通しについて、ちょっとご意見を伺いたいと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

すみません。整備率のほうで先ほど64.5%ということでお伝えしましたけれども、人口ベースでいきますと整備率につきましては74.9%の整備ということで、整備をされた地区の接続率という部分では94.2%の方が接続をされております。先ほど言いました、開発区域で開発等で宅地住宅を整備して下水道管が入ったところにつきましては、基本的には、建築の中で下水道が整備されたところでは、新築につきましては下水道への接続というものは必ず行っております。

ただ、先ほど言いました、まだ既存の住宅、下水道の整備をした中で、既存の住宅の中で接続をされていない方が200件等ある、こちらにつきましては、昨年、アンケート等をした中で、なぜ接続をしないのかという部分はアンケート等をして、こちらのほうでも調査をしております。その中では、やはり金銭的な部分が多い部分と、高齢者の方の住宅の場合、自分の世代でつながらないで自分の次の代の方に接続を任せるので今は接続しないよとか、そういうご意見等が多かったという部分で、こちらの部分、なるべく接続をしてくださいという形をお願いはしているのですけれども、そういうご意見等がある中で、なかなか既存住宅の接続が進んでいかないというふうに私たちも考えております。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

私も、先ほどの64.5%というのは、ちょっと低いのかなと気にはしていたのですけれども、訂正を聞きまして少し安心するところなのですけれども。とにかく、水が流れていない時期に、におうということは、それを不快に思う方は現実にいるということですので、何か、この辺を早目に解決してやればいなと、そのような気がしておりますので。どうも、いろいろとありがとうございます。行政側の努力は、よく私はわかっておりますけれども、地域の快適な生活を確保する意味で下水道事業というのは

大変大事なものですので、よろしくお願いいたします。

○委員長（菊川敬人）

山田委員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。

今の整備率の絡みの中で質問していきたいのですが、接続率は94.2%ということで未接続が200件という報告がある中で、200件については飽きない程度に接続を促していただきたいたいというところで理解したところなのですが、整備率について64.5、これを、ある意味、整備率を上げていくためにはどうしたらいいかというハードルがあると思うのですが、その部分も絡めた中で質問したいのですが。

歳入の中で245ページ、下水道使用料に直結してくるのですが、この間の補正で、使用料については、ある製紙会社さんの関係で2,000万の補正をかけたという経緯があります。今回、前年対比として1,453万5,000円という増を示されていると思うのですが、この間の補正の2,000万とでは減額されるということは、ある意味、この間の説明ではリサイクルをしているということと答弁いただいたので、再度、またリサイクルをされていくのかなというふうな方向性で予算を組んでいるのかなというの見えるのですが。

その説明も、もちろん入れてもらうのと、もう一方、お隣の工場の部分での接続の部分、その部分が鍵になってくるとは思うのですが、これ名前を言っていると思うのですが、具体的に言えば明治ゴムさんですね、この間、浄化槽を一部撤去して、恐らく公共下水につなげたのではないのかなという部分では、ある意味、接続率というものが上がってきたのかなというところを推測するところなのですが、今後、整備率を上げるのには、やはり工場の部分の面積というものがものすごく鍵になってくると思うのです。そういう部分では、具体的に明治ゴムさんというのをここで言わせてもらったのですが、そこら辺の絡みの接続の計画。やはり、これは負担が大きいので、計画的に企業さんも考えていると思うので、そこら辺の報告を含めた中で答弁いただきたいと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課副主幹（川口浩一）

上下水道課、川口でございます。

まず、1点目の事業所の平成27年度、補正予算に伴う増額部分の影響についてということでお答えさせていただきたいと思います。

平成27年度は、特定事業所4事業所分の下水道使用料増加に伴い補正予算により増額を行いました。平成28年度当初予算への影響については、平成27年度内に特定事業所が試験的に実施していた再生水の利用制限が完了し、井水の使用量が減少する見込みとなっております。特定事業所における下水道使用料収入は、平成27年度より見込めないと考えております。

こちらなのですが、平成27年度特定事業所の使用料、これが実績で6,364万3,000円となっております。調定額です。平成28年度見込み額ですが、こちらは説明書にも記載されておりますが、5,084万2,000円となっております。それで、こちらにつきましては、井水の利用が新年度になっても若干続く予定となっておりますので、後半部分につきましては、試験的な利用が終わりまして安定した数値が出たところで使用料のほうも下がってくるということで考えております。

あと、一般家庭分、こちらの排水については、接続件数が増える見込みもありますので、その分が微増するという予定になってございます。

以上です。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

次の明治ゴムの接続ということで、私のほうからお話しさせていただきます。

明治ゴムさんにつきましては、下水道の接続につきましては、何年か前からお願いしたいということで明治ゴムさんのほうにお願いしております。その中で、明治ゴムさんにつきましては、敷地のエリアが広い、また既存の建物がかかり点在しているということがありまして、接続工事につきましては、まず営業をストップしない形でエリアを決めた中で排水の接続工事をやっていきたいという申し出がありまして、その中で今年度につきましてはエリアを分けた一つのエリアの中の、簡単に言うと生活雑排水関係の浄化槽の接続をさせていただいたということでございます。

工場全体につきましては、先ほど言いましたように、エリア全体を何カ所かに分けた中で、営業をストップしない中でどうやって接続をしていくかという部分では、今現在、検証をした中で、明治ゴムさんのほうの計画的に接続を中期的にやっていきたい、長期ではなくて中期的にやっていきたいというお話がありますので、こちらにつきましては、残りのエリアが具体的にどういう年度で接続をしていくのかというものが決まったら、ご報告をしていただけるというふうになっております。

○委員長（菊川敬人）

山田委員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。

整備率を上げる部分では、大きな鍵になると思います。雑排水を接続していただいたということで、そこら辺の接続をしてもらったことによって整備率が当然上がるわけですね。何%ぐらい上がったのかという、1点、質問したいのと、あと明治ゴムさん全体が仮に整備された場合、どのぐらいの整備率の上がりというのですか、上昇が見られるのか、その点。

整備率を上げるのに対して、いろいろな努力をされているのは見えているのです。例えば、河原町の部分の、この間、工事が終わったところも、苦労した中で本管を入れたというのも聞いていますので、そういう部分では整備率を上げるために努力はさ

れているなというふうには思っているのですが、やはり明治ゴムの部分というのは物すごく懸案だなというところがありますので、ちょっと細かいことにはなりませんけれども、ご答弁をお願いします。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

明治ゴムが全部接続した場合の整備率の上昇につきましては、すみません、手元にデータがないものですから、後ほど、こちらのほうからお示しさせていただきたいと思います。

ただ、現在、明治ゴムさんにつきましては、接続ということで受益者負担金の賦課をしているところが、エリア全体の3分の1は、もう受益者負担金を賦課して徴収しております。残りの3分の2の面積につきまして、まだ受益者負担金の賦課をされていない状況ですので、整備的には3分の2を加えた中の整備率の向上というふうになっております。

○委員長（菊川敬人）

山田委員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。

それは後で、では報告をもらいたいと思います。明治ゴムの全体の、全部整備した場合の整備率は、後で教えていただきたいと思います。

それと、251ページ、歳出のほうで公共下水道事業費ということで、主に町単独事業工事に対してお聞きしたいのですが、説明の中では28年度下水道工事箇所図として工事箇所が細かく明記されているのですが、ある意味、下水というのは市街化区域を基本とする中で、宮台、牛島部分の整備を27年度も行い、引き続き28年度も行うというところではいいのですが、工事をやるのは。先ほど、幼稚園のほうに接続するというような答弁があったのですが、県道のほうから、中央通りですね、県道ですよ、ほうからの入り込みというのが考えられなかったのかというのが1点聞きたいのと、幼稚園にかかわらず、そのまま上に延伸していくのだよという工事計画なのかというのを1点聞きたいのと。

あと、中之名のほうの、10番ですね、町道287号線という、これ比較的新しい道路、認定した道路で、舗装面もまだまだ傷みが少ないところに今回本管を入れるという作業にはなるのですが、ほかの部分でなかなかまとまった整備率を上げるために工事をする箇所が少なくなっているのだよという、そういう部分でここを入れるのだよという、いろいろな考え方があるとは思いますが、そこら辺のこの工事箇所を示した部分というのは、ある意味、住宅が建つという計画があるのかということも含めてお聞きしたいのと。

あと、先ほどの明治ゴムさんのところ、9番の県道の下水管を入れるというのは、これは歩道面のほうに入れるでいいのか、山北に向かって左側に入れるのか、そこら

辺、ちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

委員のご質問にお答えします。

位置図の6番、町道232号線の工事につきましては、先ほども言われたとおり、開成幼稚園を取り込むという中での工事の中の1期目という形で予定しています。なぜ、こちらのほうかと言いますと、開成幼稚園の横に清水川という川がありまして、都市計画道路から取り込むとなると、それを下越しした中で入れていく形になります。そうしますと、やはり深いところを掘らなければいけない。そういう部分と、そちらをやった場合に、都市計画道路のほうの本管が当初からの計画で深く設置をされていないという中で、計画ルートとしては町道からの接続という中で計画をしております。

あと、もう一つ、場所が10番の町道287号線につきましては、こちらにつきましては、先ほどお話しさせていただいた市街化区域の中で、まだ建設予定等は、こちらのほうからの情報は把握はしておりませんが、いつ、そういう話が出てくるかというのわかりませんので、そういう中では、整備されてから、もう5年以上、確か経っていると思いますけれども、その中で、いつでも接続ができるような準備をしていきたいという中で、今回、こちらのほうの整備をする予定でございます。

あと、9番の県道山北開成小田原線、こちらにつきましては、議員のおっしゃるとおり、歩道へ下水道管を入れる工事を予定しております。

以上です。

○委員長（菊川敬人）

ほかに質問はございませんか。

佐々木委員。

○1番（佐々木昇）

すみません。関連で一つだけ、細かいところなのですが、今の公共下水道事業費の中に臨時駐車場借地料というのが。これは毎年、私が見た中で15万円、計上されているのですが、この辺の詳細をお伺いしたいと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

こちらのほう、昨年と同じ金額を載せていますけれども、平成28年度につきましては、工事箇所の1番、2番、町道119号線、こちらのほうが行き止まり道路の工事になりますので、こちらのほうで工事をした場合に隣接するお宅の車の車両の出入りが不可能になってきますので、そちらのほうの台数を把握した中で駐車場の料金のほうを予算計上しております。

○委員長（菊川敬人）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

すみません。先ほどの石田委員の牛島地区の232号線の整備に伴う住宅の接続ということで、正確な数字のほうをお示しさせていただきたいと思います。こちらにつきましては、アパートが2棟、それと戸建て住宅が6軒の接続というふうになっております。こちらにつきましては、今年度につきましては、場所と言いますと町道244号線という、みなみ地区におりていく道路の手前までの整備を今年度は予定しております。来年度につきましては、開成幼稚園の接続まで工事を延長する予定で、そちらのほうの整備をしていきたいと考えております。

○委員長（菊川敬人）

よろしいですか。

では、以上で、議案第23号 平成28年度開成町下水道事業特別会計予算について、質疑を終了します。

暫時休憩します。再開を10時20分とします。

午前10時07分